

憲法をいかし、いのちとくらしを守る平和な社会を！

2018年 国際女性デー 第58回宮城県集会

2017年7月7日、国連会議で核兵器禁止条約が採択され、10月にはこの条約に貢献した国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」のノーベル平和賞受賞が決まりました。12月のノルウェーでの授賞式でICANの代表は「核兵器は絶対悪」と強調し、世界のすべての国がこの条約に参加するよう訴えました。そして「広島と長崎の被爆者や世界中の核実験による被害者たちが、証言や主張をとおしてこの画期的な条約の成立を助けてくれた」と語っています。

被爆者として長年にわたり核兵器禁止運動に携わって来られた和田征子さんにお話を伺います。この世界から核兵器をなくすにはどうしたらいいかをご一緒に考えましょう。



講師 ^{わだ まさこ} 和田 征子 さん (日本原水爆被害者団体協議会事務局次長)

講演 草の根の運動が歴史を動かした。
そしてこれから ～核兵器禁止条約採択～

とき 2018年3月8日(木) 18:15～20:15

ところ エル・パーク仙台<5階>セミナーホール

資料代 500円

(仙台三越定禅寺通り館/下図参照)



聴衆からスタンディングオベーションを受ける和田さん(左から2人目)

★和田 征子さんプロフィール★

*1943年生まれ。1歳10ヶ月の時に長崎で被爆。母親から聞いた被爆体験を語り継ぐ。神奈川県原爆被害者の会横浜支部(浜友の会)支部長。

*2017年7月、ニューヨークの国連本部で核兵器禁止条約検討会議のホワト議長に「ヒバクシャ国際署名」の署名人数目録を手渡しました。

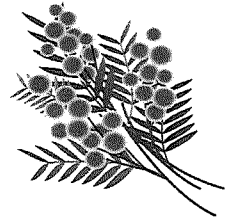
*11月、パチカン市国での「核兵器のない世界と統合的軍縮の展望」国際会議に招待され、被爆者として証言(写真左)。フランシスコ・ローマ法王と面会し「ヒバクシャ国際署名」を手渡し賛同を求めました。



主催 国際女性デー宮城県実行委員会

仙台市青葉区五橋1-5-13 新日本婦人の会宮城県本部気付 TEL022-262-5101

国際女性デーとは・・・



1904年3月8日にニューヨークの女性たちが「パンよこせ」「女性にも参政権を」とデモを起こした行動を記念して、1910年に3月8日を女性の解放と平和な社会建設のための国際的な戦いの日とすることが提唱され、国連は1975年（国際婦人年）にこの日を「国際婦人デー」と決めました。この日世界各国で記念行事や催しが開催されています。日本では1923年に第1回が弾圧の中で持たれ、今に歴史を引き継いでいます。

国際（国連）女性デー宮城県集会（第51回～第57回のあゆみ）

回	日時	講師・所属	講演題目	会場
51	2011(平23)年 3月8日(火) 18:10～20:15	おぐり じゅんこ 小栗 純子 日本航空キャビンクルー ユニオン・副委員長	人間として客室乗務員として ～今、私達の闘いは～	エル・パーク仙台5階 セミナーホール
		空の絶対安全をめざして一日航の「整理解雇」とたたかう女性たち— 2010年12月31日、日本航空「整理解雇者」165名の一人となった小栗さんは、「裁判と職場の闘いでJALの真の再生をめざす」と凛としてお話をしてくださいました。		
52	2012(平24)年 3月8日(木) 18:15～20:15	いとう ちひろ 伊藤 千尋 ジャーナリスト 朝日新聞社記者	脱原発に向かう世界と日本 地球を生かす ～市民が創る自然エネルギー～	エル・パーク仙台6階 スタジオホール
		戦闘(せんとう)でなく銭湯(せんとう)を! 憲法と地球の力を活かし、平和で安全な世界を! 憲法を活かし平和を創る、社会を変える世界の人々の姿を全国各地で熱く語っている伊藤さんは、どう新しい社会を創っていくか、世界と日本の事例から提案してくださいました。		
53	2013(平25)年 3月8日(金) 18:15～20:15	かねこ まさる 金子 勝 立正大学法学部教授 憲法学	生きる権利と日本国憲法 —「憲法の語り部」となるために—	エル・パーク仙台5階 セミナーホール
		頭ではわかっていると思いつつ、実は知らないことも多い「憲法」について、資料を示しながら丁寧に説明してくださいました。「戦争する日本」つくりではなく、「平和的福祉国家」の考えのもとで初めて「3.11」の被災者の救済が可能となると熱く語ってくださいました。		
54	2014(平26)年 3月8日(土) 18:30～20:30	かたやま さとし 片山 知史 東北大学大学院 農学研究科教授	放射能汚染と水産物への影響 —放射能汚染問題にどう向き合うか—	エル・パーク仙台5階 セミナーホール
		東日本大震災から3年、津波によって大きく変化した沿岸部も一部を除いて回復したと判断されるが「放射能さえなければ」という福島県の漁民の悲痛な言葉の紹介と共に省庁を超えた水産物・食品管理システムの検討が必要と語られました。参加者の質問も多く、関心の高さが伺えました。		
55*	2015(平27)年 3月8日(日) 13:30～15:30	かな ともこ 海南 友子 ドキュメンタリー映画 監督	平和をめざすメディアの役割 —母として、ジャーナリストとして—	TKPガーデンシティ 仙台勾当台ホール3
		学生時代やNHK入社後の体験を語られた後、フリーになって作った「にかい涙の大地から」は70年前日本軍が中国に遺棄した科学兵器の被害が今なお起きている現実を多くの人に知って欲しいと話されました。100年後の未来を見つめて生きなければ…と結んで、講演を終えました。		
56	2016(平28)年 3月8日(火) 18:15～20:15	ありま りえ 有馬 理恵 劇団俳優座所属 女優	差別と戦争をなくすために ～おしばいとおはなし～ —ふるえるような怒りの奥底に すがるような生命の願いがあった—	エル・パーク仙台5階 セミナーホール
		水上勉さんの「釈迦内棺唄」を20分短縮バージョンで演じた後、同和問題や差別の体験等を具体的にお話してくださいました。最後に、日本軍慰安婦にされたフィリピンの女性になりきった「人間の尊厳を否定することはできない」という迫力のある語りで全身が揺さぶられました。		
57	2017(平29)年 3月8日(水) 18:30～20:20	もりした まいこ 森下 麻衣子 オックスファム・ジャパン 事務局次長	ひろがる格差と貧困 ～日本でも、世界でも～	エル・パーク仙台6階 ギャラリーホール
		「世界で最も裕福な62人の資産は世界の貧しい37億人の人びとの総資産に匹敵する」～この大きな格差の対処法はタックスヘイブンの税金逃れを改めさせることや女性は子育て、介護、家事など無償ケア労働を担っており、賃金格差のサイクルに対処することが大切と話されました。		

*第55回宮城県集会後は、ミモザの花やプラカードを持って、勾当台公園市民広場から東一番町～青葉通りをパレードしました。



国際女性デー宮城県実行委員会